



タイにおける現地情報 (Vol.04, No.04 February 2024); Quarterly

灯籠まつり
チェンマイ(タイ北部の古都)

2024年2月17日
HS-TECH ENGINEERING
橋本真也
Sunisa Thammaphrot
Sasiton Treeprak

各種国家ランキングから見た「タイと日本」

～タイでのビジネスチャンスも考えながら

目次

1	グローバルイノベーションインデックス(GII指標)とユニコーン企業調査から...	1
1.1	GII指標.....	1
1.1.1	GII総合順位(昨年)および一昨年との比較.....	1
1.1.2	GII総合順位と7指標の推移とタイー日本の位置づけ.....	2
1.1.3	GIIにみるタイの強みと弱み.....	3
1.2	ユニコーン企業調査.....	4
1.2.1	ユニコーン企業の累積企業価値と国民一人当たりのGDP.....	4
1.2.2	主要国のユニコーン企業(業種別).....	5
1.2.3	タイのユニコーン企業.....	6
1.2.4	タイのイノベーション関連商品(分野別).....	6
1.3	タイのイノベーション戦略.....	7
1.4	日系企業のタイでの販路拡大に向けて.....	9
2	国家ブランド指標ランキング(NBI)から.....	10
2.1	NBIとは.....	10
2.2	NBI指標と聞き取り調査.....	10
2.3	NBIスコアと各国ランキングの推移.....	11
3	国際競争年鑑(IMD)ランキング(2023年)から.....	12
3.1	灼熱のエコシステム・日本.....	12
3.2	全小分類の順位分布(各国ごと).....	16
4	別紙.....	17

1 グローバル イノベーション インデックス(GII 指標)とユニコーン企業調査から

タイの英字紙 THE NATION THAILAND の電子版は 2023 年 9 月 29 日¹、UN 傘下・世界知的所有権機関(WIPO)のグローバルイノベーションインデックス(GII²)による総合順位で、タイは 2022 年と変わらず 43 位、アセアン+6³の 16 ヶ国中 9 位と報じた。タイは 2030 年までに総合順位 30 を目指し、高等教育・科学・研究・イノベーション省が中心となってイノベーション立国に向けた施策を展開中だ。

1.1 GII 指標

1.1.1 GII 総合順位(昨年)および一昨年との比較

図・表 1 に ASEAN 各国の GII 総合順位および上昇・下降が顕著な指標を示した。タイは昨年、総合順位で一昨年と変わらなかったが、7 つの指標のうち「組織」では 7 ランク下降し 85 位に、市場の洗練度で 5 ランク上昇し 22 位だった。なお、ASEAN を含む各国の GII 総合順位および 7 つの指標の順位を図・表 2 に示した。

図・表 1 GII 総合順位(2023 年)と 2022 年から順位が大きく上下した指標(ASEAN 各国)

各国	総合順位・指標	昨年の順位	2022 年との比較	要因となった詳細指標例(注)
シンガポール共和国	総合順位	5 位	↑ 2 ランク	
	人的資本と研究	2 位	↑ 5 ランク	OECD 学力到達度、高等教育
マレーシア連邦国	総合順位	36 位	↔ 変わらず	
	市場の洗練度	18 位	↑ 8 ランク	新興企業およびスケールアップ企業のためのファイナンス
タイ王国	総合順位	43 位	↔ 変わらず	
	組織	85 位	↓ 7 ランク	規制環境
	市場の洗練度	22 位	↑ 5 ランク	
ベトナム共和国	総合順位	46 位	↑ 2 ランク	
	人的資本と研究	71 位	↑ 9 ランク	イノベーションの洗練度
	市場の洗練度	49 位	↓ 6 ランク	信用、貿易、競争、市場規模
フィリピン共和国	総合順位	56 位	↑ 3 ランク	
	人的資本と研究	79 位	↑ 11 ランク	貿易、競争、市場規模、
	市場の洗練度	55 位	↑ 23 ランク	ハイテク関連輸出入
インドネシア共和国	総合順位	61 位	↑ 14 ランク	
	知識および技術の産出	61 位	↑ 23 ランク	創造的製品の輸出

出所:WIPO のデータから作成、(注)詳細指標:別紙参照

¹ <https://www.nationthailand.com/thailand/general/40031448>

² https://www.wipo.int/global_innovation_index/en/ 132 ヶ国・地域のイノベーション・パフォーマンスをランク付けた年次報告書で、結果は欧州委員会の研究機関である Joint Research Center 等による審査を受けている。

³ 日本、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランドの 6 ヶ国

1.1.2 GII 総合順位と 7 指標の推移とタイ-日本の位置づけ

図・表 2 ではアセアン各国に日本とインドを加えた GII 総合順位および 7 指標別の順位を示した。これら 7 指標はさらに 80 項目に詳細指標化された(別紙参照)。GII の試みはイノベーションのみならず、国力を推し量る尺度としても使えるだろう。

日本はこの GII 総合順位で 13 位。また後述する[国家ブラン](#)

[ド指標](#)(NBI 2023 年)でも日本はトップだった(2 章)。ところが、昨年 6 月に公表された[国際経営開発研究所\(IMD\)の世界競争力年鑑](#)では、タイは 30 位、日本は 35 位に止まった(3 章)。順位に一喜一憂することは無いが、順位の決定過程はとても気になる。

図・表 2 各国の GII・総合順位および 7 指標の順位

指標 国、年	総合順位	1 組織	2 人的資本 と研究	3 インフラ	4 事業の 洗練度	5 市場の 洗練度	6 知識および 技術の産出	7 創造的 産出
Singapore								
2023	5	1	2	8	3	6	10	18
2022	7	1	7	11	2	4	13	21
2021	8	1	9	15	3	5	13	17
2020	8	1	8	13	6	4	14	18
Denmark								
2023	9	5	9	3	12	21	12	10
2022	10	9	10	5	15	15	12	14
2021	9	8	5	5	11	7	14	13
2020	6	12	2	4	11	8	12	10
Japan								
2023	13	21	18	13	11	8	13	25
2022	13	21	21	12	8	9	11	19
2021	13	7	20	9	10	15	11	18
2020	16	8	24	8	10	9	13	24
Malaysia								
2023	36	29	32	51	36	18	37	47
2022	36	34	38	51	41	26	39	41
2021	36	41	39	51	39	30	31	37
2020	33	40	29	48	31	20	38	35
India								
2023	40	56	48	84	57	20	22	49
2022	40	54	43	78	54	19	34	52
2021	46	62	54	81	52	28	29	68
2020	48	61	60	75	55	31	27	64
Thailand								
2023	43	85	74	49	43	22	42	44
2022	43	78	71	54	43	27	43	49
2021	43	64	63	61	36	27	40	55
2020	44	65	67	67	36	22	44	52
Viet Nam								
2023	46	54	71	70	49	49	48	36
2022	48	51	80	71	50	43	52	35
2021	44	83	79	79	47	22	41	42
2020	42	83	79	73	39	34	37	38
Philippines								
2023	56	79	88	86	38	55	46	60
2022	59	90	86	81	39	78	41	58
2021	51	90	80	86	33	86	24	65
2020	50	91	86	63	29	86	26	57
Indonesia								
2023	61	70	85	69	77	37	61	68
2022	75	71	90	68	92	36	78	72
2021	87	107	91	68	110	57	74	91
2020	85	111	92	80	114	62	71	83

出所: 世界知的所有権機関のデータから作成した。

XX: 2022 年から 5 ランク以上の上昇、 YY: 2022 年から 5 ランク以上の下降



1.1.3 GII にみるタイの強みと弱み

図・表 3 にイノベーションに関する GII が取り上げたタイの強みを示した。被雇用者が手厚く守られている点、中等教育における教員不足(低賃金等による)、企業教育の充実度不足などが「弱み」とされた。一方、知的財産支払い額(総取引額に占める割合)、組織における研究人材の割合などが「強み」とされたことは、進展著しい[タイのイノベーション政策\(1.3 章\)](#)や[ユニコーン企業の創出\(1.2 章\)](#)などが評価されたのであろう。この「強み/弱み」が個別のビジネスチャンスに直接結び付かないが、タイへの展開を模索する方々にとって、参考にして頂きたい。

図・表 3 イノベーションに関するタイの強みと弱み

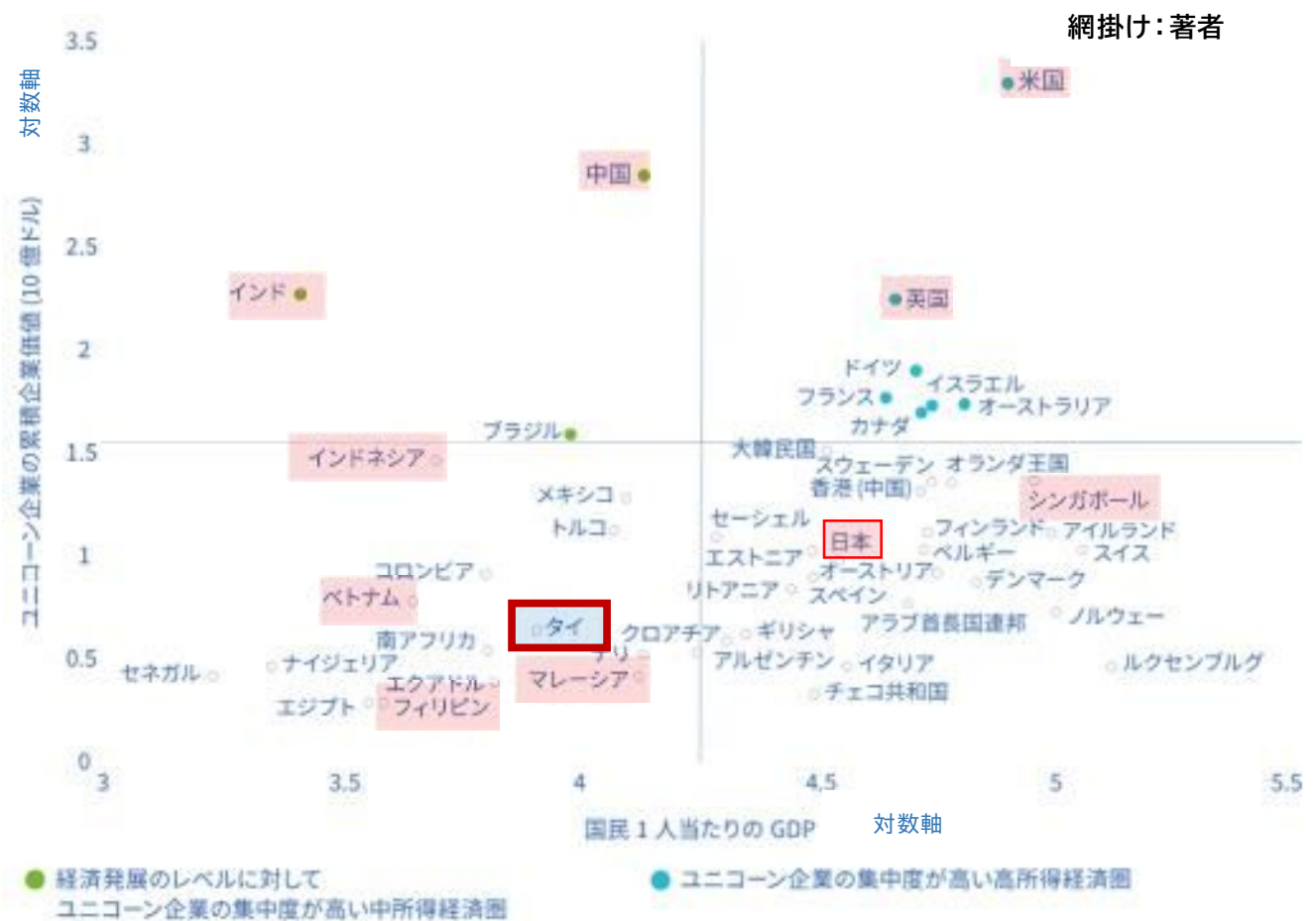
指標/詳細指標	強み	弱み
インプット		
1 組織		
解雇費用		●
2 人的資本と研究		
教育支出、GDP 比		●
グローバル企業の R&D 投資家、上位 3 社、百万米ドル		●
生徒と教師の比率、中等教育		●
3 インフラ		
電子参加	●	
4 事業の洗練度		
民間部門への国内信用、GDP 比	●	
国内産業の多角化	●	
5 市場の洗練度		
正式な要員トレーニングを提供している企業、%		●
海外から資金提供を受けた研究開発支出、GDP 比		●
事業による資金調達による研究開発支出、GDP 比	●	
ハイテク輸入、総貿易の割合	●	
ICT サービス輸入、総貿易額		●
知的財産支払い額(総取引額の割合)	●	
組織における研究人材の割合	●	
アウトプット		
6 知識および技術の産出		
ハイテク輸出、総貿易額の割合	●	
ICT サービス輸出、総貿易額の割合		●
原産地別実用新案/10 億 PPP\$GDP	●	
7 創造的産出		
クリエイティブ商品の輸出、総貿易額の割合	●	
文化・クリエイティブサービス輸出、総貿易額		●
全国長編映画/100 万人(15-69 才)		●

1.2 ユニコーン企業調査

各国におけるイノベーションの創出度合を図る指標の一つとして、累積企業価値 10 億米ドル以上のユニコーン企業の状況に関して述べる。

1.2.1 ユニコーン企業の累積企業価値と国民一人当たりの GDP⁴

タイはユニコーン企業の累積企業価値においてマレーシアを上回ったが、ベトナムの後塵を拝したようだ。これら 3 国と比べてインドネシアが突出している(図・表 4)。



図・表 4 ユニコーン企業の累積企業価値と国民一人当たりの GDP

(出所:世界知的所有権機関 日本事務所から引用許諾済み)

⁴ <https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/ja/wipo-pub-2000-2023-exec-ja-global-innovation-index-2023.pdf>



1.2.2 主要国のユニコーン企業(業種別)

図・表 5 に「タイを含む主要国のユニコーン企業数(2023年:業種別)」を示した。タイは3企業、日本からも6企業が入ったが米国の656社は圧倒的だ。インターネット関連サービスやフィンテック等を通して、各国のマネーが米国に流れ込む仕組みができあがっているのか。日本のデジタル赤字⁵が膨らむわけだ。

図・表 5 タイを含む主要国のユニコーン企業数(2023年:業種別)

業種	米国	インド	シンガポール	インドネシア	日本	タイ	バトナム	マレーシア	フィリピン	総計
インターネット・ソフトウェア&サービス	161	13	2				1			177
フィンテック	135	17	5	3	2	1	1			164
健康	75	2								77
人工知能	57		2		1					60
サイバーセキュリティ	44									44
その他	37	1			2				1	41
データ管理と分析	35	1								36
電子商取引と消費者直販	26	17	3	1		1		1		49
サプライチェーン、物流、配送	26	7	1	1		1				36
コンシューマー&リテール	14	1		1						16
ハードウェア	14									14
モバイル&テレコ ミュニケーション	14	1	1		1					17
EdTech 教育+技術	9	7								16
自動車と輸送	8	2								10
旅行	1	1		1						3
総計^(注)	656	70	14	7	6	3	2	1	1	760

出所: The Complete List Of Unicorn Companies のデータから作成

<https://www.cbinsights.com/research-unicorn-companies>

(注) 総数: 図・表 5 に示した 9ヶ国のみの数値を加算した数値

⁵ 唐鎌、日本の「デジタル赤字」4.7兆円超と8年で倍増、執拗な円安が続く要因に、DIAMON ONLINE, 2023.11.15
<https://diamond.jp/articles/-/332317>



1.2.3 タイのユニコーン企業

タイのユニコーン企業の概要を図・表 6 に示した。「フィンテック」、「電子商取引と消費者直販」および「サプライチェーン、物流、配送」関連業種がそれぞれ一社ずつ。3 社合計の累積企業価値は約 35 億米ドル。出資者はベンチャーキャピタル(大手銀行系を含む)やタイ財閥系企業および中国系企業のような。なお、日本の 6 社合計の累積企業価値は 164 億米ドル。

図・表 6 企業価値 10 億米ドル以上のユニコーン企業(タイ)

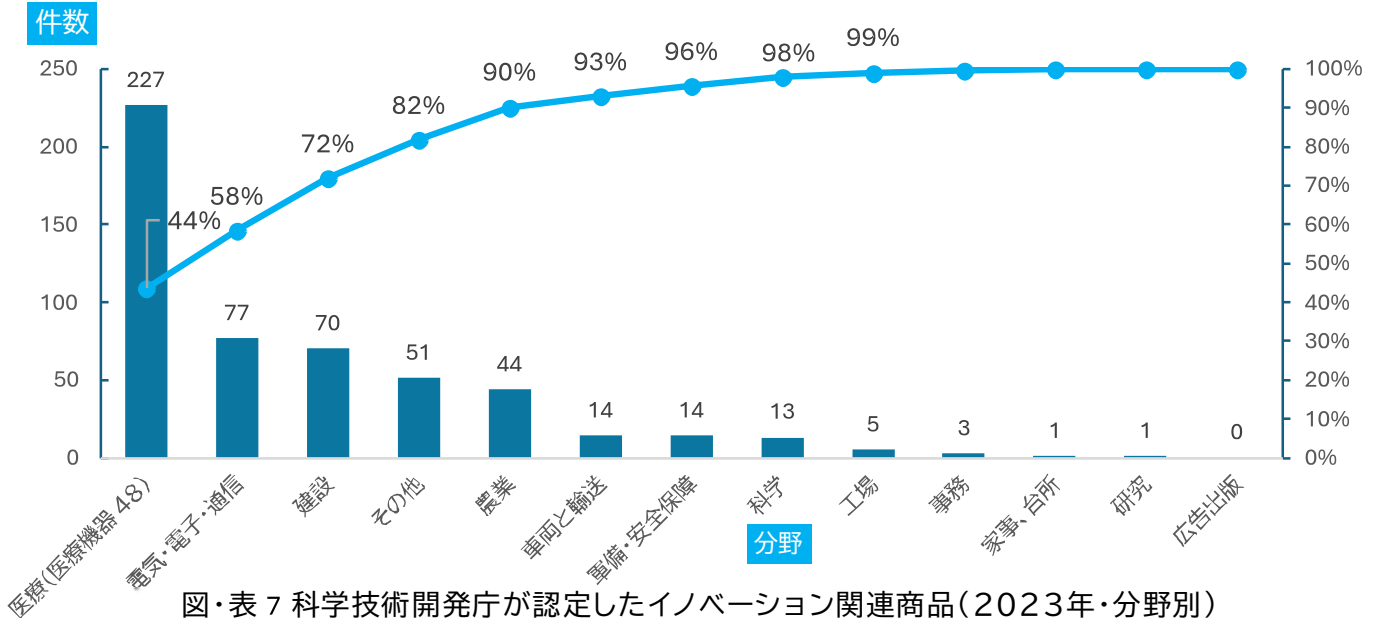
企業名	企業価値 (億\$)	10 億ドルに達した時期	都市	業種	投資家
Ascend Money	15	2021/9/27	バンコク	フィンテック	Ant Group, Charoen Pokphand Group, Bow Wave Capital
LINE MAN Wongnai	10	2022/9/26	バンコク	電子商取引と消費者直販	BRV Capital Management, Bualuang Ventures
Flash Express	10	2021/2/1	バンコク	サプライチェーン、物流、配送	SCB 10X, Krungsri Finnovate, eWTP Capital

出所:図・表 5 と同じ。

http://www.sti.or.th/sti/encontent.php?content_type=1

1.2.4 タイのイノベーション関連商品(分野別)

図・表 7 にタイ・科学技術開発庁に登録された分野別のイノベーション関連商品⁶(昨年)を示した。医療分野が 227 件でトップ。電気・電子・通信、建設(資材)を加えた 3 分野で総登録件数(520 件)の 72%を占めた。



図・表 7 科学技術開発庁が認定したイノベーション関連商品(2023年・分野別)

出所:科学技術開発庁のデータから作成 <https://www.nstda.or.th/innovation/>

⁶ 製品の妥当性に関する審査に合格する必要がある。価格も審査対象で開示されているから、類似製品でタイ進出を考えている場合の参考になるだろう。なお、登録できる組織は、タイ国籍保有者が株式の過半数を占めることも要件の一つだ。

1.3 タイのイノベーション戦略

図・表 8 にタイ国・国家科学技術イノベーション戦略(2012-2021)の骨子を示した。新政権が昨年 9 月 5 日に国王から承認を受けたことにより、本イノベーション戦略も多少は修正されると思われる。ただしあらゆる分野でイノベーションを強力に推進することにより中進国の罫から脱し、国家の繁栄を目指すタイの基本政策は変わらないだろう。

図・表 8 国家科学技術イノベーション(STI)戦略の骨子

戦略推進 1:社会・地域コミュニティの活性化
戦略 1.1:公衆衛生の促進のための STI
施策 1.1.1:疾病管理・予防のためのイノベーション
施策 1.1.2 医療技術の開発とイノベーション
戦略 1.2:知識基盤社会の発展に向けた STI
施策 1.2.1 STI に関する周知・理解促進
施策 1.2.2:STI に関する生涯学習
施策 1.2.3:学術・研究機関と地域社会との連携
施策 1.2.4:研究機関・アカデミアと地域社会のコラボレーション。
施策 1.2.5 地域の伝統的知識の高度化に向けた科学技術の活用
戦略 1.3:地域社会の能力開発のための STI
施策 1.3.1 持続可能・自給自足型農業のための STI
施策 1.3.2:地域産品・サービスの価値創造・付加価値のための STI
戦略 1.4:地域社会の安全と安心のための STI
施策 1.4.1 地域のエネルギー・天然資源・環境の持続可能な管理のための STI
施策 1.4.2 公共の安全とセキュリティのための STI
戦略的推進力 2:経済競争力と強靱性の強化
戦略 2.1:セクターごとの効率・生産性向上のための STI
施策 2.1.1:農産業クラスター開発とサプライチェーンマネジメントのための STI
施策 2.1.2:農業・製造業の能力・効率・生産性向上のための STI
戦略 2.2:産業別付加価値・価値創造・イノベーション向上のための STI
施策 2.2.1:製品・サービスの品質・基準・安全性向上のための STI の策定
施策 2.2.2:市場主導型の製品の差別化とイノベーションに重点を置いたグリーン経済のための STI
戦略 2.3: 変化と貿易障壁に対する計画と適応の奨励
施策 2.3.1:気候変動問題に関する生産計画・意思決定のための STI
施策 2.3.2:自由貿易協定による要求の変化に対応するための積極的な標準化のための STI
戦略推進 3:エネルギー・資源安全保障と環境持続可能性の確保
戦略 3.1: エネルギー・資源・環境モデリングのための STI 開発
施策 3.1.1 エネルギー・資源・環境モデリングのための STI の開発
施策 3.1.2:早期警戒システムの開発
施策 3.1.3:地形変化による農業・生物多様性への影響緩和のための STI
戦略 3.2:気候変動緩和のための STI
施策 3.2.1 エネルギー効率のための STI
施策 3.2.2:代替・新エネルギー開発のための STI の開発
施策 3.2.3 温室効果ガス排出削減のための STI の開発
施策 3.2.4:廃棄物管理・削減のための STI の開発

戦略 3.3:天然資源の均衡ある管理のための STI
施策 3.3.1 天然資源保全管理の実効性を高めるための STI の開発
施策 3.3.2 天然資源の涵養と生物多様性の回復のための STI の開発
戦略 3.4:水資源管理のための STI
施策 3.4.1 水資源供給のための STI の開発
施策 3.4.2 水資源配分のための STI の開発
施策 3.4.3:水資源管理のための STI の開発
戦略推進 4:STI 人材開発
戦略 4.1:STI 人材の統合的育成
施策 4.1.1 基礎教育における探究型学習の促進・支援
施策 4.1.2:職業教育・高等教育における就労一体学習の促進・支援
施策 4.1.3:STI 人材の登用・支援
戦略 4.2:STI 人材の能力、専門的能力、スキル、知識のレベルの向上
施策 4.2.1:急速に変化する市場需要に適應する STI 人材の能力開発
施策 4.2.2:一般労働者の STI 知識・技能の向上
戦略 4.3:モチベーションを高め、クリティカルマスを達成するために STI 労働力の基盤を拡大し、STI 労働力の実行可能なキャリアパスを創出する。
施策 4.3.1 STI 人材のモチベーションとキャリアパスの構築
施策 4.3.2 STI 人材のビジネスチャンスの創出
施策 4.3.3:研究開発要員の流動性の促進
戦略的推進力 5:STI インフラと実現要因の開発
戦略 5.1:STI の発展を支援する財政・金融ツールの開発
施策 5.1.1:STI の発展を支援する新たな財政・金融ツールの改善・開発
施策 5.1.2:STI 能力強化のための既存の財政・金融ツールの活用
戦略 5.2:STI 市場の発展
施策 5.2.1:STI 市場構築における投資・調達メカニズムの活用
施策 5.2.2: STI 開発のためのマーケティング・インフラ整備
戦略 5.3:STI インフラの強化
施策 5.3.1: STI 開発区域の開発・支援
施策 5.3.2:計測・標準化・試験・品質管理(MSTQ)システムの開発
施策 5.3.3:国家 ICT インフラの拡充に向けた STI の整備
施策 5.3.4 STI ワンストップサービス提供の推進
施策 5.3.5 STI インフラの効率的な利用促進
戦略 5.4: STI の発展を可能にする法規制の改善
施策 5.4.1: 国の STI 開発を可能にする法律と規制の整備
施策 5.4.2:研究開発の知的財産保護と商業化の促進
戦略 5.5:STI 開発管理
施策 5.5.1: すべてのレベル(国、地域、地方)における実施メカニズムとともに、国の STI 計画と関連する行動計画を策定
対策 5.3.2:STI データベースの開発と統合
施策 5.3.3 研究システムの戦略的統合
施策 5.3.4 STI ワンストップサービス提供の推進
施策 5.3.5: 地域・地方レベルでの STI の発展を促進するための、政府機関、学術機関、民間団体、地方自治体による、地域に根ざした協力的なネットワークづくり

出所：国家科学技術イノベーション政策局から作成。2021 年以降の計画は確認できなかった

1.4 日系企業のタイでの販路拡大に向けて

日本と同様、タイでも少子高齢化、非婚化が顕著だ。前述したイノベーション関連製品で医療関係製品が全登録製品の 44%を占めたことも、これら分野での創造的なビジネスの展開を目指したもののだろう。

図・表 9 にタイでビジネスチャンスが見込める分野、主なサービスおよびプレーヤーを示した。例えば、医療機器・治療機器に進出を目指すタイのスタートアップ企業は、日本の技術や経験を学びたいようだ。

図・表 9 タイでのビジネスチャンス分野

ビジネスチャンス分野	主なサービス	プレーヤー
健康食品・飲料	コレステロールゼロの低脂肪食品、低糖・無糖食品、ベジタリアン食品、健康補助食品、燕の巣スープ、チキンエキススープなどの基礎健康食品、スマートスープ、スマートドリンク、卵アルブミンなどの高度機能食品	Charoen Pokphand Foods, Fonterra (Thailand), Cerebos (Thailand), Abbott Laboratories (Thailand), and AB Food and Beverages (Thailand)
ライフスタイルプロダクト	歯磨き粉、洗口液、パーソナルケア製品、下着、靴、スキンケアおよびアンチエイジング用ナチュラルコスメティック	P&G, Lion (Thailand), GlaxoSmithKline, and ICC International, amongst others.
不動産	戸建住宅やマンションの中には、ユニバーサルデザインや介護設備 購入者が亡くなったときに、あらかじめ決められた価格で買い戻す契約 入居者は 30 年間の滞在で 100 万バートの一時金と、月 1 万バート以上の家賃を払って受けるサービス	Sawangkanives, Bussayanives, Wellness City, and Villa Meesuk. Sawangkanives, Ramathibodi Hospital of Mahidol University, Thailand's first state-owned senior complex in Bang Phli,
シニア向け機器・設備を導入した公共・住宅リノベーション	タイのスタートアップ企業は日本、欧州、豪州等から学びたい	
医療機器・治療機器	タイのスタートアップ企業は日本、欧州、豪州等から学びたい	
モビリティ製品・サービス	日本から高齢者向け自動車の輸入 病院やデパート、お寺などへの移動が必要な高齢者向けタクシーサービス	Eton Group Senior Taxi Thailand
投資、生命保険、医療保険	退職後の生活に備えた金融、保険商品	
高齢者向け介護サービス	老人ホーム(62%)、在宅介護(20%)、デイケア、ロングステイ、社会福祉開発センター、健康増進センター	Junior & Senior Home Health Care, Kronus (Thailand), Thai Riei. JS Home Health Care, a subsidiary of Kluaynamthai Hospital

出所: ERIA Research Project Report, No. 06a

Population Ageing in Thailand Lessons from One of the Most Aged ASEAN Member States⁷から作成

⁷ <https://www.ahwin.org/population-ageing-in-thailand-lessons-from-one-of-the-most-aged-asean-member-states/>

2 国家ブランド指標ランキング(NBI)から

2.1 NBI とは

国家ブランド指標ランキングとは図・表 10 に示した 6 つの指標(「輸出」~「移民&投資」)ごとのオンライン聞き取り調査結果を NBI スコアとして集計し、順位付けしたものである⁸。2023 年は 20 ヶ国、18 才以上の 6 万人への聞き取りを行った。

2.2 NBI 指標と聞き取り調査

図・表 10 に NBI 指標と聞き取り調査の大分類を示した。大分類は「細分化指標」にブレイクダウンされているが本稿では省略した。

図・表 10 NBI 指標と聞き取り調査の大分類

	指標	聞き取り調査時の大分類 ^(注)
1	輸出	原産国効果(例:Made in Japan の標示が購買行動に影響するか) 科学技術に特別な強みを持っているか 国家的、世界的にイノベティブか
2	統治	政府の能力と誠実さ 国民の扱い、権利の尊重、および国際の平和と安全、環境保護 世界の貧困の削減分野におけるグローバルな行動
3	文化	国の遺産や、音楽、映画、芸術、文学から生まれた現代文化の「雰囲気」 スポーツにおける卓越性
4	人	その国の親しみやすさ その国を訪れたときに歓迎されていると感じるか その国の親しい友人を持ちたいか その国から優秀な人材を採用したいか
5	観光	自然の美しさ、歴史的建造物やモニュメント 都市生活やアトラクションの活気 回答者が金銭目的でない場合でもその国を訪問する可能性があるか
6	移民 & 投資	優秀な人材や資本を惹きつける国力 人々が その国で勉強したり、働いたり、生活したりしているだけでなく、その国の経済的繁栄、機会の平等を享受できるか 生活の質の高い場所(国)であるか
	NBI スコア	NBI スコアは、上記の 6 つのインデックスのスコアの平均です。3 から 5 つの格付け質問。評価は 1 から 7 までのスケールに基づいており、7 が最高または最良、1 は最低または最悪、4 は中間の位置

出所: The Anholt-Ipsos Nation Brand Index(注)筆者らが英文を邦文に要約した。

<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/news/documents/2023-10/NBI-2023-Press-Release-Supplemental-Deck-December-23.pdf>

⁸ <https://www.ipsos.com/en>

2.3 NBI スコアと各国ランキングの推移

図・表 11 に 2022 年および 2023 年の NBI スコアおよび各国のランキングを示した。日本は 2023 年、60 ヶ国の全調査国でトップに立った。同年の各国順位はシンガポール(26 位)、インド(38 位)、インドネシア(44 位)、ベトナム(47)、フィリピン(48 位)だった。タイは調査対象外のような。また、それぞれの「細分化指標」ごとの順位は読み取れなかった。

図・表 11 NBI ランキング

Country	2022 スコア	2022 ランキング	2023 スコア	2023 ランキング
Japan	69.5	2	69.9	1
Germany	69.8	1	69.4	2
Canada	69.5	3	68.9	3
United Kingdom	69.1	6	68.8	4
Italy	69.3	4	68.7	5
United States	68.3	8	68.4	6
Switzerland	68.6	7	68.2	7
France	69.2	5	68	8
Australia	67.9	10	67.8	9
Sweden	68.1	9	67.8	10
Spain	67.3	11	66.8	11
Norway	67	12	66.6	12
Netherlands	65.9	13	66.3	13
New Zealand	65.6	14	66	14
Finland	65.2	16	65.4	15
Scotland	65.3	15	65.3	16
Austria	65.2	16	65.1	17
Ireland	64.4	18	64.7	18
Belgium	64.1	19	64.1	19
Portugal			64.1	20
Greece	62.9	20	63.6	21
Iceland	62.7	21	63.5	22
Singapore	60.9	25	61.5	26
India		39		38
Romania			56.6	43
Indonesia		45		44
Vietnam	53.5	51	55.7	47
Philippines				48
Ukraine		47	53.8	57
Russia		58	53	59
Botswana		59	52.3	60

出所: <https://www.ipsos.com/en/nation-brands-index-2023>

(注) デンマークのランキングは確認できなかった。

3 国際競争年鑑(IMD)ランキング(2023年)から

3.1 灼熱のエコシステム・日本

国際経営開発研究所(IMD)⁹は世界各国の競争力を評価する年次報告書を公表している。2023年報告書では64の国と地域が対象となった。この総合評価でデンマークが1位、タイは30位、日本は35位だった(図・表12¹⁰)。日本は調査対象となった64の国と地域中、大分類「ビジネスの効率性」中の小分類で最下位が5項目もあった。

筆者らはIMDにおける個々の分類における算出過程を確認できない。また、前述したGIIと類似したIMD詳細指標(小分類)とも詳細な比較をしていないが、IMDの評価結果には疑問点が散在している。前述したGII指標ではデンマークと同様、緑豊かな日本のイノベーションに関する「エコシステム(図・表2)」が、IMDの評価では灼熱のそれ(図・表12)に一変する。

藤岡¹¹によればIMDの評価結果を「邦人に」紹介すると、『ランキングの作り方がおかしいと怒りだす人がいる』らしい。もっともだ。ヒートマップ化したIMD指標の順位(図・表12)を一望すると、筆者らタイ生活者の「肌感覚」とのギャップも埋まりようがない。

「邦人に」:筆者らの加筆



春節中のバンコク(2月)

⁹ スイスの本拠を設置するビジネススクール <https://www.imd.org/about/about-us/>

¹⁰ ワードが不安定で入力できなくなったことから英文のまま

¹¹ 藤岡, アジアとともに未来を創るスタートアップと都市創造, p22- 31, ArayZ, January 2024 Vol. 145, https://arayz.com/column/features_202401/

図・表 12 IMD 指標の順位と日・タイの位置づけ(2023年、各国ごと)

国	Denmark	India	Indonesia	Japan	Malaysia	Philippines	Singapore	Thailand	USA
大分類、小分類									
総合評価: Overall Competitiveness	1	40	34	35	27	52	4	30	9
大分類: Business Efficiency	1	28	20	47	32	40	8	23	14
International experience [Survey]	12	29	24	64	34	44	11	23	17
Use of big data and analytics [Survey]	6	20	15	64	32	38	11	25	4
National culture [Survey]	22	25	12	64	39	15	18	8	44
Entrepreneurship [Survey]	15	36	18	64	38	57	38	23	21
Agility of companies [Survey]	3	33	18	64	38	49	24	30	19
Flexibility and adaptability [Survey]	7	26	19	63	42	15	23	20	37
Opportunities and threats [Survey]	6	21	24	62	39	46	16	29	20
Small and medium-size enterprises [Survey]	3	39	42	62	41	51	26	48	10
Competent senior managers [Survey]	2	20	12	62	22	28	6	23	10
Large corporations [Survey]	1	35	27	61	25	34	15	11	24
Use of digital tools and technologies [Survey]	1	13	21	61	36	44	17	32	7
Changing market conditions [Survey]	4	34	13	58	40	47	35	15	19
Foreign highly skilled personnel [Survey]	14	33	16	54	27	46	6	19	4
Value system [Survey]	16	24	23	53	30	38	7	28	8
Workforce productivity [Survey]	3	34	39	52	33	36	16	30	17
Shareholders' rights [Survey]	2	37	22	50	34	47	23	19	18
Digital transformation in companies [Survey]	1	15	9	50	33	40	12	28	10
Attitudes toward globalization [Survey]	3	29	15	46	32	22	13	10	50
Skilled labor [Survey]	6	8	13	46	31	3	15	24	12
Corporate boards [Survey]	3	31	10	45	34	30	13	14	24
Brain drain [Survey]	2	21	17	44	39	52	10	23	4
Finance skills [Survey]	4	17	24	43	31	35	9	33	19
Banking and financial services [Survey]	1	23	5	42	21	32	6	19	18
Venture capital [Survey]	9	16	5	39	28	52	10	23	2
Auditing and accounting practices [Survey]	3	38	29	37	40	43	21	26	32
Employee training [Survey]	2	31	14	35	39	37	27	20	28
Need for economic and social reforms [Survey]	6	20	9	30	23	35	14	13	33
Image abroad or branding [Survey]	4	23	24	29	36	45	12	17	27
Credibility of managers [Survey]	2	22	14	26	29	30	20	15	21
Worker motivation [Survey]	1	22	18	24	34	38	30	17	26
Apprenticeships [Survey]	5	13	10	23	29	47	19	21	32
Corporate debt [Survey]	1	39	22	21	38	41	10	17	12
Stock markets [Survey]	7	15	9	21	24	31	16	8	12

国	Denmark	India	Indonesia	Japan	Malaysia	Philippines	Singapore	Thailand	USA
大分類、小分類									
Credit [Survey]	4	25	7	20	35	50	18	26	9
Regulatory compliance (banking laws) [Survey]	3	40	18	15	36	45	6	30	34
Attracting and retaining talents [Survey]	2	33	27	4	52	47	37	26	28
Customer satisfaction [Survey]	4	45	15	3	26	34	33	2	19
Social responsibility [Survey]	1	40	9	2	43	39	31	14	29
大分類:Economic Performance	15	33	29	26	7	40	3	16	2
Resilience of the economy [Survey]	2	9	8	57	22	32	19	26	14
Forecast: Real GDP growth	57	1	5	36	7	3	36	15	45
Forecast: Current account balance	9	48	36	29	22	54	6	27	50
Relocation threats of business [Survey]	6	5	11	26	33	50	49	29	9
Forecast: Unemployment	8	38	36	5	14	34	3	2	28
Forecast: Inflation	21	40	32	1	15	26	9	9	18
大分類:Government Efficiency	5	44	31	42	29	52	7	24	25
Immigration laws [Survey]	51	35	20	62	33	38	49	18	41
Public sector contracts [Survey]	1	36	27	55	53	51	20	32	34
Investment incentives [Survey]	26	15	13	54	24	49	4	14	17
Public finances [Survey]	6	14	15	53	23	48	2	16	31
Adaptability of government policy [Survey]	8	15	9	52	18	47	4	33	17
Central bank policy [Survey]	7	13	5	49	18	24	8	11	32
Legal and regulatory framework [Survey]	5	22	30	48	23	45	3	36	12
Foreign investors [Survey]	6	46	45	48	58	62	24	50	38
Real personal taxes [Survey]	45	22	21	47	16	32	5	15	12
Labor regulations [Survey]	1	35	28	43	24	42	13	6	19
Pension funding [Survey]	3	23	17	41	27	49	11	33	34
Protectionism [Survey]	3	38	33	40	42	55	29	39	25
Creation of firms [Survey]	5	35	19	39	22	48	17	23	27
Transparency [Survey]	3	23	26	37	31	52	10	43	21
Subsidies [Survey]	1	32	19	37	40	52	13	24	35
Freedom of the press	3	60	48	37	40	52	51	46	30
Capital markets [Survey]	1	31	17	35	37	60	13	29	20
Unemployment legislation [Survey]	20	28	31	30	9	47	5	12	21
Equal opportunity [Survey]	2	28	26	21	43	45	22	31	32
Bribery and corruption [Survey]	1	41	53	20	46	59	17	51	25
Bureaucracy [Survey]	4	24	26	19	28	55	7	30	13
Parallel economy [Survey]	1	35	39	17	34	48	11	32	19
Tax evasion [Survey]	6	42	35	15	30	59	8	38	28

大分類、小分類	国	Denmark	India	Indonesia	Japan	Malaysia	Philippines	Singapore	Thailand	USA
Risk of political instability [Survey]		1	24	43	15	42	48	13	47	36
Cost of capital [Survey]		9	26	21	13	10	51	19	11	12
Competition legislation [Survey]		1	24	36	12	33	57	9	50	26
Justice [Survey]		1	31	42	11	26	51	17	34	28
Social cohesion [Survey]		1	28	19	10	30	45	16	24	44
State ownership of enterprises [Survey]		1	30	29	5	49	46	35	33	22
大分類:Infrastructure		2	52	51	23	35	58	9	43	6
Digital/Technological skills [Survey]		4	21	33	63	25	46	12	36	9
Language skills [Survey]		2	28	37	60	32	25	14	47	36
Management education [Survey]		3	30	31	60	38	36	14	19	9
University education [Survey]		2	44	29	56	39	43	9	33	22
Qualified engineers [Survey]		16	10	17	54	23	32	15	24	8
Development & application of tech. [Survey]		3	23	22	49	27	53	11	30	10
Scientific research legislation [Survey]		9	33	38	48	31	53	8	34	5
Cyber security [Survey]		11	33	34	43	35	56	8	38	23
Funding for technological development [Survey]		2	23	21	43	28	55	4	26	5
Knowledge transfer [Survey]		4	34	23	43	36	51	5	24	8
Public-private partnerships [Survey]		4	19	16	41	22	31	8	18	9
Intellectual property rights [Survey]		4	44	41	34	30	59	9	35	17
Energy infrastructure [Survey]		3	40	35	33	20	59	13	15	30
Primary and secondary education [Survey]		2	38	25	30	33	48	9	32	28
Communications technology [Survey]		1	43	47	26	42	63	23	15	35
Quality of life [Survey]		3	48	40	24	38	54	26	32	28
Health infrastructure [Survey]		16	39	29	21	23	54	15	8	35
Management of cities [Survey]		2	46	30	9	16	50	6	19	21
Environmental laws [Survey]		6	46	29	8	18	60	7	34	27
Distribution infrastructure [Survey]		1	46	40	7	28	56	14	23	26
Pollution problems [Survey]		3	53	44	6	38	63	13	55	22
Access to water [Survey]		2	55	45	5	35	54	27	31	38
Quality of air transportation [Survey]		2	42	37	5	26	54	10	20	25
Sustainable development [Survey]		1	39	28	2	32	54	24	15	34

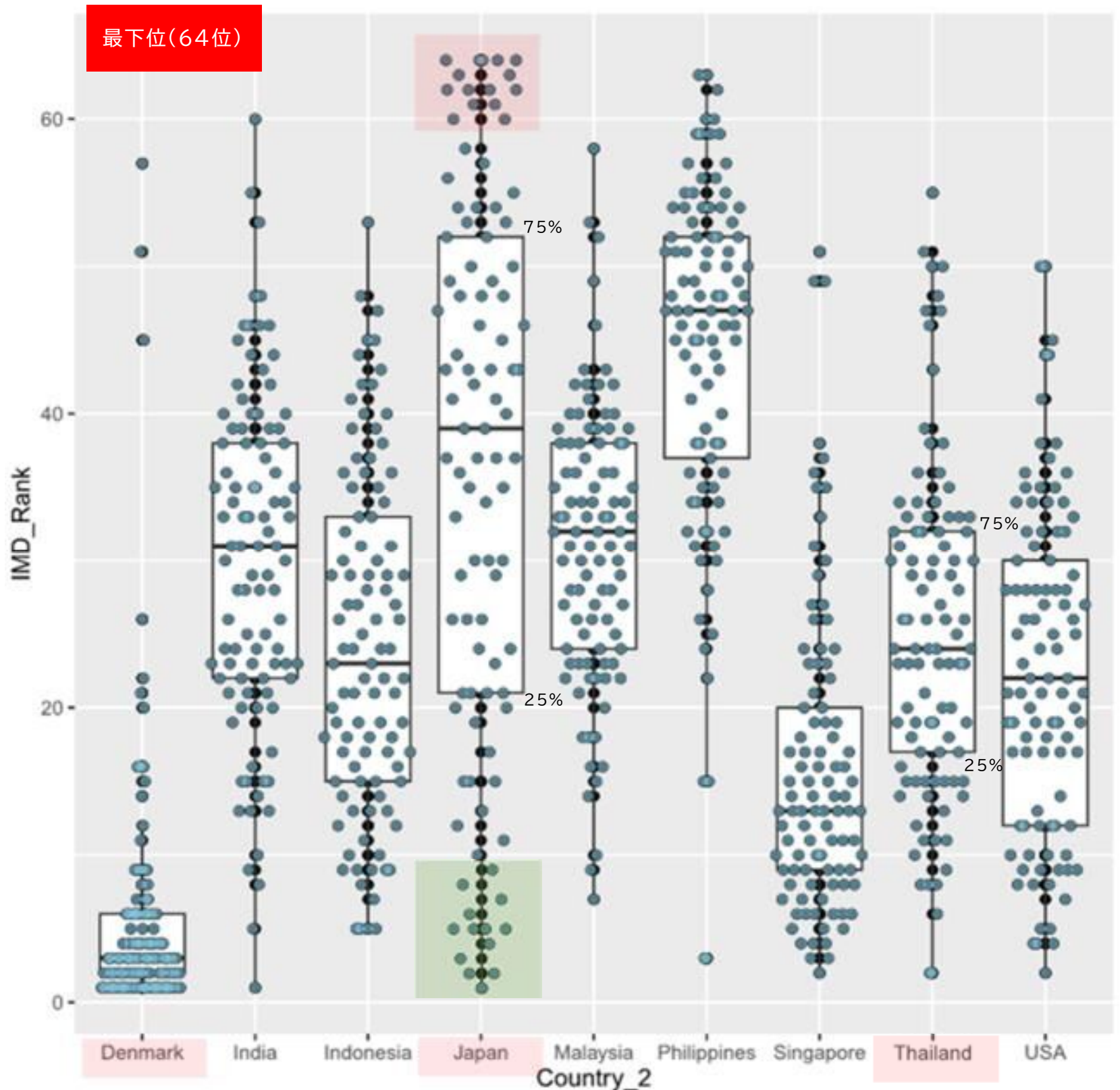
出所: 図・表 12 と同じ。

3.2 全小分類の順位分布(各国ごと)

図・表 13 に各国の IMD 指標のうち、各小分類の順位分布をボックスプロット化した。鳥瞰するに、デンマークが圧倒的競争力を示している中、日本は上位から下位までのバラツキが最も大きい。さらに 60 位以下で最下位クラスの評価が下った小分類数も、他国と比べて突出している。また、タイは最下位クラスがなく、30 位台前半までの小分類数が全体の

75%を占めた。

デンマーク在住の針貝¹²は総合第一位になったデンマーク¹³を大分類の「ビジネスの効率性」の観点から絶賛している。同国は人口当たりの抗うつ剤処方人数でも世界トップクラス¹⁴だから、ビジネスの効率も自ずと良いのではないか。



図・表 13 各国の IMD 小分類の全ランキング分布(2023 年)

出所:図・表 12 と同じ。

¹² 針貝,国際競争力 1 位の国はこうして作られた, President Online,2024/01/24 16:00, <https://president.jp/articles/-/77814?page=1>

¹³ GII 指標総合順位でデンマークは 9 位で日本の 13 位とそれほど変わらない。

¹⁴ Ivana Bojanić,Use of Antidepressant and Anxiolytic Drugs in Scandinavian Countries between 2006 and 2021: A Prescription Database Study <https://downloads.hindawi.com/journals/da/2024/5448587.pdf>

4 別紙

GII における 7 つの指標、80 の詳細指標 (2017 年版)

インプット	インプット	アウトプット
1 組織	4 事業の洗練度	6 知識および技術の産出
<p>規制環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 規制の質 法の支配 余剰人員解雇の費用、給与週 <p>事業環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 起業のしやすさ 倒産処理の容易性 税金支払いの容易性 <p>政治環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治の安定と安全 政府の有効性 	<p>イノベーションの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> JV 戦略的提携件数/10 億\$購買力平価 GDP 海外からの研究開発資金比調達、% 産学連携 2 拠点以上の特許群/10 億\$購買力平価 GDP イノベーションクラスター開発の現状 <p>知識の吸収</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT サービス輸入、総貿易額 ハイテク輸入から再輸入を差し引いた総貿易額 知的財産支払い額、総取引額の割合 対内直接投資 I 純流入額、GDP 比 組織における研究人材 (%) <p>知識労働者</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業ごとの政府の研究開発費、GDP 比 知識集約型雇用 (%) 正規の企業教育を提供している企業 (%) 企業の研究開発資金調達 (%) 全雇用者数に占める女性が多い取得者 (%) 	<p>知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 対内直接投資・純流出額、GDP の割合。 ICT サービス輸出、総貿易額の割合 ハイテク輸出から再輸出を差し引いた、総貿易額の割合 知的財産の受領額、総貿易額の割合 <p>知識への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータソフトウェア支出、GDP 比 新規事業数/(15-64 才) 購買力平価の GDP 成長率 (%) ISO 9001 品質証明書/10 億\$購買力平価 GDP ハイテク・中程度のハイテク企業 (%) <p>知識創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 原産地別特許数/10 億\$購買力平価 GDP PCT 特許出願/10 億\$購買力平価 GDP 原産地別実用新案/10 億\$購買力平価 GDP 科学技術記事/10 億\$購買力平価 GDP
2 人的資本と研究	5 市場の洗練度	7 創造的産出
<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の平均余命、年。 教育支出、GDP 比 生徒と教師の比率 (中等教育) 中等教育における政府の教育費/生徒数 読解力、数学、科学における PISA 尺度 (OECD 学力到達度) <p>研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> R&D への総支出、GDP 比率 % 常勤研究者/100 万人当たり 世界の R&D 企業、上位 3 社、百万 \$US クアックアレリ・シモンズ大学ランキング、平均スコアトップ 3 <p>高等教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 三次就学率、総人口の割合 科学および工学の卒業生 (%) 三次インバウンド移動率 (%) 	<p>信用</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクロファイナンスの総融資額、GDP 比 信用の取得のしやすさ 民間部門への国内信用、GDP 比 <p>投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ベンチャーキャピタル取引件数/10 億\$ 購買力平価 GDP マイノリティ投資家の保護のしやすさ 時価総額、GDP の割合 <p>貿易、競争、市場規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内市場規模、10 億\$ 購買力平価 地域競争の激しさ 適用関税率、加重平均 (%) 	<p>オンラインクリエイティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 分野別トップレベルドメイン/1000 人 (15-69 才) 国別トップレベルドメイン/1000 人 (15-69 才) ウィキペディアの年間編集数/100 万人 (15-69 才) YouTube 動画アップロード/15-69 才 <p>無形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT・ビジネスモデル創出 ICT と組織モデルの構築 原産地別商標数/10 億\$購買力平価 GDP 原産地別意匠/10 億\$購買力平価 GDP <p>創造的な商品・サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易総額に占める文化的・創造的サービス輸出の割合 全国長編映画/100 万人 (15-69 才) 世界のエンタテインメント・メディア市場/1000 人 (15-69 才) 印刷・出版メーカー (%) 貿易総額に占める創造的な商品輸出の割合 (%)
3 インフラ		
<p>一般的なインフラストラクチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総資本形成、GDP の% 発電量、kWh/cap 物流実績 <p>情報通信技術 (ICT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT の活用 ICT へのアクセス 政府機関のオンラインサービス 電子参加 <p>生態学的持続可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境パフォーマンス GDP/エネルギー使用原単位、2010 \$/kg 購買力平価石油換算 ISO 14001 環境認証/10 億\$購買力平価 GDP 		

注) 邦訳は著者らによる。詳細指標の名称、指標数は調査した年によって多少の変更が見られる。